

# 偕楽園公園

## 梅の香漂う散策マップ

### Kairakuen Information

「偕楽園」は金沢の「兼六園」、岡山の「後楽園」とともに「日本三公園」のひとつに数えられています。

この貴重な遺産を守り育てるとともに、広く皆様に親しみ続けていただくように、偕楽園、千波公園及び周辺の緑地を合わせ「偕楽園公園」と総称し、一体的な整備を進めております。偕楽園公園の中には、茨城県近代美術館、茨城県立歴史館などもあり、その面積は約300haにも及び、中心市街地に位置する都市公園では、ニューヨークのセントラルパークに次ぐ世界第2位の広さとなっています。

#### ●表門

本来はここが表口でした。黒塗りであるため、「黒門」とも呼ばれています。



#### ●偕楽園

偕楽園は、水戸第九代藩主徳川斉昭（烈公：1800～1860）が自ら造園計画の構想をおり創設したもので、特に好文亭については烈公が自らその位置や建築意匠を定めたと言われています。偕楽園の名称は、中国の古典である「孟子」の「古の人は民と偕に楽しむ、故に能く楽しむなり」という一節から取ったものです。春には百品種約三千本の梅の花が咲き誇り、全国でも有数の梅の名所として知られています。



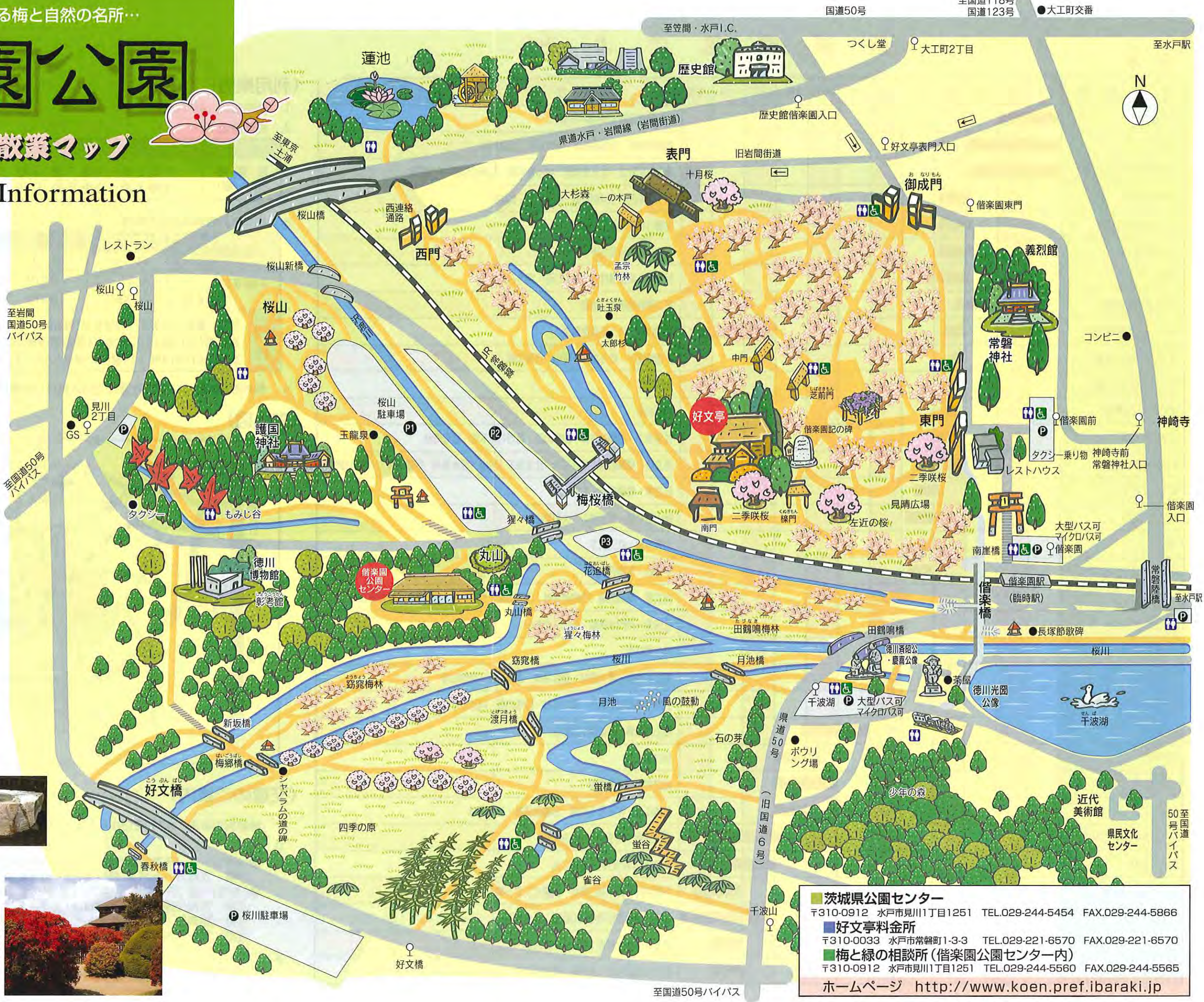
#### ●吐玉泉

寒水石の井筒に清水がこんこんと湧き出ています。この湧水はかつて茶室阿陋庵の茶の湯に供されてきました。



#### ●好文亭

好文亭の名前は梅の別名好文木に由来しています。二層三階の好文亭と北につながる奥御殿からなり、一般に全体を総称して好文亭と呼んでいます。三階を楽奏楼と呼び、前面に千波湖が眺められます。昭和20年に戦火により焼失しましたが、昭和30年から3年を費やして復元されました。内部の東広縁、紅葉の間、菊の間、桃の間、萩の間などが昔の面影をそのまま伝えています。亭には附属する草庵風の茶室、阿陋庵があります。



**茨城県公園センター**  
 〒310-0912 水戸市見川1丁目1251 TEL.029-244-5454 FAX.029-244-5866

**好文亭料金所**  
 〒310-0033 水戸市常磐町1-3-3 TEL.029-221-6570 FAX.029-221-6570

**梅と緑の相談所 (偕楽園公園センター内)**  
 〒310-0912 水戸市見川1丁目1251 TEL.029-244-5560 FAX.029-244-5565

ホームページ <http://www.koen.pref.ibaraki.jp>